

2018秋 我が家族



10月14日(日)、飛行機に乗って降り立ったのは東京都八王子市。
夫婦でマラソン大会に参加し始めて、およそ2年。
今では薬局のお客様も誘ってのイベントに成長していますが(笑)、親子4人の家族
で参加したのは今回が初めて。しかも長崎ではなく、八王子でのマラソン大会!

誤解しないでください。薬局を休んでまで、飛行機に乗ってまでこのマラソン大会に
出たかったのではありません。一番の目的は、息子の進路相談。

八王子にある東京薬科大学6年生の次男の三者面談に出かけた次第です。その際、
タイミング良く、翌日に八王子マラソン大会が企画されていたのでした。

「子どもが大学生にもなって、親が学校の先生と三者面談ってどうなの？
東京まで旅費をかけて行くって、どうなの？ 太田先生、過保護過ぎでは？」
そう思った方もいらっしゃるかも（笑）

私は夫として父親としての“男の役割”は2つあると考えています。

- 1．家族の安全と健康を守る。そのために働く。
- 2．人生の指南役になり、家族に勇気と希望を与える。

これこそが「父性」の役割だと考えています。

その父性が機能していない家族が、健康を失い、子どもだけではなく家族全員が
「どう生きて行けばいいのか・・・？」 生きる理想を見失っていたりします。

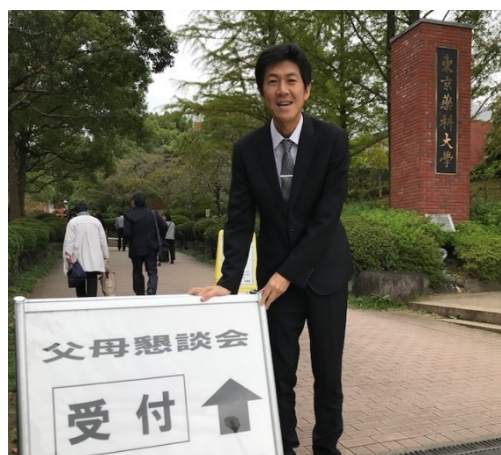
さて、学校の会場に入って驚きました！

保護者の数にビックリ！！

子どもの将来を真剣に考えている保護者の人数、
説明を聞く姿勢に、背筋が伸びました。
都会の親は意識が高いな・・・と。

我が家の息子たちは、ともに高校卒業後
親元を離れて上京しました。

子どもを取り巻く環境や人脈、学校での出来事、
その時々のお悩みなど詳しく知る由もありません。



「今回、意を決し出向いてよかった」。そう改めて思いました。

帰省して来た都度、話はしていたものの、こちらから親が出向いて、東京の子どもと語り合う。それは長崎では得られない、会話の“質”を実感したからです。家族が限られた時間の中で、いつもとは違う場所で話し合う。だからこそ「真剣さ」が違うのです。

子どもだけではなく、親自身も。アウェーの地ゆえに、目的だけに集中できます。

卒業後迷わず自分の道を選択・決断できた次男坊。学校の先生との面談も終えて「時間とお金をかけて上京してよかった！」。親として充実感を味わえました。

人生は選択と決断の連続です。つまるところ人生のストレスとは、そこに集約されるのかもしれない。「どんな学校がいいか？」「どっちの仕事がいいか？」「この人と結婚して幸せになれるのか？」「太田東西薬局を信じてもいいのか？」（笑）

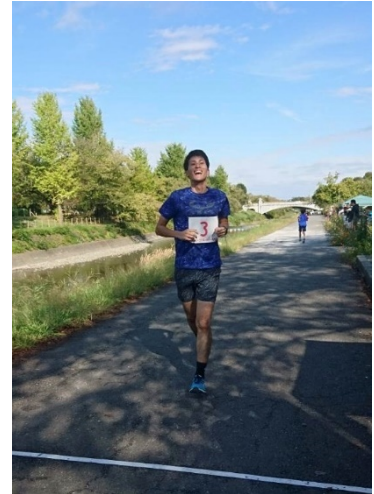
家族それぞれが選択と決断を迫られた時、どれだけ家族が力になってあげられるか？
そこに家族の真価が問われる。そう私は思います。

真剣に話し合った後は、お楽しみのマラソン大会！！
というのは冗談で、その次男坊は翌日には大事な試験を控えていました。
「試験直前にマラソン大会なんかに出ている学生、学校で誰もいないぞ！」
最後まで参加を渋っていたのですが、ここで父親の父性が炸裂します（笑）

「人生には気分転換が最も必要なんだよ！学校の説明でも国家試験合格の秘訣は
知 体 心と言っていたら。 “知”ばかりインプットしてもダメだ。試験の合格に
限らず、様々な困難を乗り越えるには、“体と心”が重要なんだ。つまりそれが最高の
アウトプットにつながり、最高のパフォーマンスとなって成果が得られるんだ！」

東京八王子でも、“太田東西節”は健在です！！（笑）
しかしこれは本当の話で、知識だけで試験の合格は得られず、幸せな人生も得られま
せん。問題解決能力というのは、その時の“体と心”が多分に影響します。
“体と心”を良い状態にしてこそ、“知”のアウトプットは高まるのです。

そしてついに、八王子マラソン大会当日 \ (^o^) /



結局、お父さんが一番、
楽しんでないか？ \ (*´ `) /

「太田先生はいつも陽気で、全く悩みなんかなさそうですね」
ここまでお読みいただいて、そう思ったお客様！
違いますよ・・・・

一方では“斜陽”の家族もいて、目配り気配りが欠かせない状況です。



我が家の父親です。

ちょうど2年前に、「もって半年」と医者から
宣告されたのですが、はい、このとおり！

虎屋の羊羹が好物で、「これが最後の東京土産
になるかも・・・」そう思って渡し続け、今回
が

5回目くらいになるかな？（笑）

目下、我が家の両親は“老々介護”状態。母親が元看護師だったこともあり、息子として安心して任せられる反面、面倒見の良い妻に甘え続けた夫は、デイサービスにも行けない状態になり・・・「しっかり看取らなければ！」という責任感の強い母親自身の体調も気になるところです。

しかし！！！！

子どもの進路問題。親の介護問題。

我が家は写真のように明るく楽しく
プラス思考で向き合っています！

子どもの“就活”問題も、親の“終活”問題も
すべて「なるようになる！」と。



どうしてそう前向きに考えられるかというと・・・

「こういう時が必ず来る」。昔から常に想定していたからです。

自分が30代の時は仕事が一番大変になる。40代は反抗期を迎えた子どもと対峙することになる。そして50代は親の介護問題、子どもの進路問題が出てくる。すべて想定して、覚悟して用意してきたからです。

ある意味、50代というのは家族と別れる時期です。

子どもは所帯を持ち、親から離れて「自立」していく。

親は老病死の問題に直面し、ある時「臨終」を迎える。

自分も親から巣立って離れ、そして親がその親と死別したように、自分もまた親との死別を迎える。そんな自分も例外なく、やがて家族と死別する日を迎える。

それは悲観することではなく、自然の摂理。その摂理に抗うことなく、受け入れて毎日を明るく楽しく生きていく。そんな2018秋 我が家族でした！（^0^） /